皆さん、こんにちは、私は会社を定年で仕事をやめてから考えました。少しでも皆さんにお役に立てる物はないかなと。それはサラリーマン向けの読書案内をすることでした。

なぜなら、サラリーマンはほとんど本を読みません。読む習慣もないです。それはある意味仕方ないことではあるのです。知的な刺激がないためといってもよいでしょう。ハウツー本は一応目を通しますが、仕事に役立つのはほんのわずかで一過性です。

そこで、本当に仕事に役立つような読書案内をしたいと考えました。一つはある人が言ってますが物事を抽象化して考えること、そのための基礎的な考え方や知識、そしてその知識の歴史を見ていくと、大体会社で必要な考え方＝仕事の進め方、説得の仕方、マーケッティングの考え方、法的な問題、さらに倫理観などが養われるはずです。それによって会社組織でも屈しない人格と成長できる自分というものが獲得されていくでしょう。

一例でいえば、法の精神、というフランスの哲学者モンテスキュウの本があります。この本を持ち出してフランスとの問題ある契約を見事に解決できました。自分の経験上古典的なものは遠回りのように見えて問題の解決に一番近いということがよくわかります。特に古典は語られている言葉はやさしいのですが何が主題かどんなことをどんな論理で言っているのかは非常にわかりにくいハードな食べ物です。特に岩波文庫にあるような書物はハードなものが多いです。そこでそういうハードなものも取り上げつつ、なぜこの本を読むのか、重要な処は何かというように分かりやすくサラリーマンのために論理を示して知的な刺激になるように書かれております。ぜひ紹介された本やその刺激によって違う方向の分野の本を手に取れるようになれば幸いです。